

めぐみだより

No.3



ひよこ

～初めての運動会～

大きい組さんをお手本に、見よう見まねで始めた行進も少しづつ上達し、腕を振ってかっこよく歩けるようになっていきました。はと・ひよこ競技では、日頃から大好きな“なりきりあそび”がそのまま運動会の競技へつながりました。子どもたちは自分で考えたキャラクターになりきり、手作りのアイテムを身につけて登場！イメージをふくらませながら素材を選び、飾りつけを楽しむ姿から、自分で考えて表現する力や創造性が育っていることを感じました。悪者役をどうするか話し合う中で、みんなの大好きな「最強図鑑」から“スピノサウルス”に決定！「卵パックで恐竜のゴツゴツ貼ってみよう！」「中に花紙も入れよう！」「ギザギザもあるよ！」と、意見を出し合いながら形にしていきました。思いを共有しながら協力して作り上げる姿に、仲間と力を合わせてやり遂げる喜びがあふれています。

“強くなる修行”ではサーキットあそびを取り入れ、「全部好き！できる！」と意欲的に挑戦する子、「ちょっと難しい…」と慎重に取り組む子など、それぞれのペースで楽しむ姿がありました。遊びを通して体のバランスやタイミングの取り方が身につき、挑戦する気持ちも育っています。これからも、子どもたちが自ら体を動かしたくなるような環境づくりを大切にしていきたいと思います。

～運動会の思い出から生まれた新しいあそび～

運動会の翌週、「モンスター ボール作りたい！」という声があがり、さっそく制作がスタート。

親子競技で使ったボールを思い出しながら、新聞紙を丸めて自分だけのボールを作りました。イラストを見ながら「この色がいい！」「〇〇はこっちのボール作る！」と話し合い、思い思いに作る姿が見られました。園庭に玉入れを用意すると、作ったボールを手に「先生、抱っこして～♡」と親子競技を再現する子、「今度は自分で入れてみる！」と挑戦する子など、それぞれの思いを持って楽しんでいました。なかなか入らず「入らないよ～！」と悔しそうにする姿もありましたが、「どうしたら入るかな？」と考えながら挑戦を重ねていました。今後も運動遊びの中で“投げる・狙う・届かせる”といった動きを自然に学び、「入った！」「できた！」という喜びを味わえるよう環境を工夫していきたいと思います。

モンスター ボール作りのあとには「ポケモンカードも作りたい！」と遊びがさらに広がりました。

好きなキャラクターを選び、ハサミでチョキチョキ、テープで貼って飾りつけ。「かわいくできた！」と嬉しそうに見せ合う姿や、完成したカードを並べて、ポケモンカード屋さんごっこを楽しむ姿も。運動会の経験が次の遊びへつながり、子どもたちの想像力や探究心がどんどん広がっていることを感じます。

～楽しかった遠足～

うさぎ組さんに手を優しく握ってもらい、歩くペースを合わせてもらいながらの遠足。園に戻ってからも園庭や砂場で一緒に遊ぶ姿が見られ、「〇〇ちゃんだ！」と声をかけ合うなど、異年齢のつながりが深まっています。こうした関わりの中で、思いやりや信頼する心が自然に育っています。

行事を通して、友だちと力を合わせて挑戦したり、自分の思いを形にしたりする姿がたくさん見られました。これからも、子どもたち一人ひとりの“やってみたい！”という気持ちを大切にしながら、遊びの中で学び合う毎日を温かく見守っていきたいと思います。

